

# 食料安全保障の危機

キヤノングローバル戦略研究所主幹

山やま下した一かず仁ひと

- \*食料危機が起こる2つのケース
- \*アメリカは食料を戦略商品にはできない
- \*インドが輸出制限をする理由
- \*食料自給率が上がると困る農水省
- \*日本だけがコメ生産を抑制
- \*減反政策で生まれる農地転用利益
- \*食料安全保障からコメ生産を考える
- \*減反施策はすぐにも廃止がベスト
- \*戦前と戦後で変節した農業政策
- \*日本のコメは高品質な輸出商品になる



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）

本日は、5年ぶりになりましたが山下さんにおいでいただきました。山下さんは、1955年のお生まれで、東京大学をご卒業後、農水省に入省され、その後、ベルギーとかEUに仕事の関係で駐在をされたりして、国際的な問題についてたいへん詳しい方です。退官後、経済産業研究所におられまして、その後、現在のキヤノングローバル戦略研究所で研究をされておられます。

ウクライナの問題で小麦価格が高騰するとか、食料の安全保障の問題について関心が高まっていますまいりましたが、必ずしも日本の状況についてはよく知られていないことが多いように感じています。日本の食料安全保障についてはた

いへん危ない状況にあるということについて、今日は山下さんに詳しくお話を伺いたいと思います。

それでは山下さん、よろしくお願いたします。（拍手）

## 食料危機が起こる2つのケース

山下 山下でございます。よろしくお願いたします。今日は、食料安全保障のお話をさせていただきます。ただきたいと思います。

まず、お話しする前に断っておきたいのですが、これも、食料問題とか農業問題というのは——これはほかの分野でも同じかもしれませんが、相当ウソが多いんです。ちまたに出てくる農業関係の本はいっぱいあります。でも、内